

高田松原の再生に向けて



高田松原再生講座（第6回）の開催

第6回「高田松原再生講座」は終了しました。

たくさんのご参加、ありがとうございました。

▶ [第6回 開催報告はこちら](#)

陸前高田市は、震災復興計画に高田松原の再生を位置づけ、市民の総意として美しい松原を取り戻すことを希求しています。

NPO法人高田松原を守る会は、（一財）ベターリビング・（一財）日本緑化センターの支援を受けて市民による高田松原再生活動を推進しており、高田松原の歴史、文化、環境、地元とのつながり、さらに再生に必要な技術と知識を学び、松原再生活動のエネルギーを持続し、次世代へ再生活動を継承することを目的に、本講座を2014年度から毎年開催しています。

この講座を通して、市民の皆様の松原に対する一層の理解と2017年度から始まった松原の植栽・保育活動の核となるボランティア育成に力を入れていきたいと考えています。



▶ [ちらしの拡大 \(jpg・813KB\)](#)

過去の開催

- ▶ 第1回（2015年） [講座の様子 / プログラム](#)
- ▶ 第2回（2016年） [講座の様子 / プログラム](#)
- ▶ 第3回（2017年） [講座の様子 / プログラム](#)
- ▶ 第4回（2018年） [講座の様子 / プログラム](#)
- ▶ 第5回（2019年） [講座の様子 / プログラム](#)



開催概要（第6回）

日時	2020年2月22日(土) 13:00~17:00 (開場 12:30)	
場所	陸前高田市コミュニティホール 大会議室 (外部リンク) (岩手県陸前高田市 高田町字栃ヶ沢210番地3)	
主催	NPO法人高田松原を守る会、(一財)ベターリビング、(一財)日本緑化センター	
後援	岩手県、陸前高田市、(一社)日本造園建設業協会岩手県支部、陸前高田ロータリークラブ、日本海岸林学会、(一社)日本樹木医会岩手県支部、(一社)日本松保護士会	
参加費	無料 (定員100名、 事前申込は不要 です)	
内容	13:00	開会あいさつ

	13:10	2019年度の活動報告 NPO法人高田松原を守る会
	13:35	アダプト方式による高田松原の保育システム 瀧 邦夫 (一財)日本緑化センター 理事
	14:00	講演 マツ材線虫病からマツを守るために必要なこと 中村 克典 (国研) 森林研究・整備機構森林総合研究所東北支所
		休憩
	15:00	松原の厄介者"クス"で「ツルかご」をつくろう! 実演：小山 芳弘 NPO法人高田松原を守る会 副理事長
	17:00	開会
※敬称略。内容は変更になることがあります		
ダウンロード	▶ちらしのダウンロード (jpg 813KB) ▶開催要領 (講座内容) のダウンロード (PDF 166KB)	
お問い合わせ	(一財)日本緑化センター 企画広報部 TEL : 03-3585-3561 FAX : 03-3582-7714 Email: matsusai○jpgreen.or.jp ○を@に変えて送信してください	

本講座は、一般財団法人ベターリビングが主催する「高田松原再生活動 (ブルー&グリーンプロジェクト)」の一環として実施するものです。

向

激励 言葉

次 げ 次

う予 紹介

々 じ ズや メ科雑 量
リ ダ カ 団体 位 づ
歴史継承 環境 全 係機 連携 力
めざ 次世代 担



緑化セ

や め 予
セ ダ



森林総研 東北支所 中村グループ長

マツ材線虫病からマツを守るために必要なこと

松くい虫被害に対する防除戦略の権威である、(国研)森林総合研究所東北支所の生物被害研究グループ長・中村克典氏を講師としてお迎えし、マツ材線虫病のメカニズムや一般的な防除手法を解説していただいた後、森林病虫害等防除法における「戦略的防除」を高田松原で行うにはどうすべきであるかをわかりやすく解説していただきました。



「ツルかご」づくりの様子

講演の後には

「松原の厄介者"クズ"で『ツルかご』をつくろう!」が行われ、約30名の希望者が参加しました。

最初に守る会副理事長の小山氏がかごづくりの実演をしてみせたものの、参加者の中にはなかなかうまくいかない人も見受けられました。

しかし、小山氏による丁寧で楽しい指導を受け、2時間かけてすべての参加者が何とか完成にこぎつけました。

最後に、守る会 小山副理事長が閉会の挨拶を行い、約80名にご参加いただいた講座を終了しました。

この講座は、毎年1回行う予定です。